

## 企画提案書

1 今後の日本社会は、人口減少や少子高齢化が一層深刻化し、特に2040年代は現役世代の急減により人手不足や社会保障制度の持続可能性が社会問題になると懸念されています。2040年代の国及び港区の社会経済情勢の変容を整理・分析するとともに、それに伴う区民生活の変化を見据え、想定される区の課題及び解決策について提案してください。

国及び貴区の2040年代の変容について、人口動態のほか、持続可能な発展を追求するために必要な経済・社会・環境の3側面について整理し、貴区が推進すべき政策の主な方向性を「共生社会の実現」、「次世代の担い手の育成」、「官民連携による社会課題解決」と分析しました。

(用いた統計データ等の一部を補足資料に添付しています。)

	2040年代の国（予測）	2040年代の港区（予測）
 <b>人口動態</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化と生産年齢人口の減少が進行するとともに、都心部へ人口が集中する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口流入が続き、特に若年層や外国人の流入が増加する</li> </ul>
 <b>経済</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働力不足を補うために、AIやロボティクスの導入が進む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスの中心地としての地位を維持し、国際的な企業やスタートアップが集積する</li> </ul>
 <b>社会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人労働者の増加により、多文化共生社会が進展する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人の増加により、多文化共生社会の進展が見られる</li> </ul>
 <b>環境</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動に対する対策が一層強化され、再エネの普及や脱炭素化が進む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンインフラの整備やエコフレンドリーな建築物の増加により都市環境が改善される</li> </ul>

### 貴区の政策の方向性（仮説）

<b>共生社会の実現</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際的な企業の集積等により外国人人口が増加し多様な価値観が生まれることが予想されることから、多様性を認めあう共生社会を構築する</li> </ul>
<b>次世代の担い手の育成</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年少人口の増加や若年層の流入といった人口動態の特徴を踏まえ、未来の日本を担う人材の育成に注力する</li> </ul>
<b>官民連携による社会課題解決</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの企業が集積する地域特性を生かし、新たなソリューションを創出するとともにそれらを活用して社会課題や環境問題の解決を図る</li> </ul>

上記政策の方向性を踏まえ、分野ごとに貴区の特徴を整理し、今後想定される課題及び解決策を以下のとおり提案します。

分野	貴区の特徴	想定される課題及び方向性を踏まえた解決策
 <b>子ども・子育て</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>合計特殊出生率は高い</li> <li>未就学児あたりの保育所数が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未就学児人口は増加傾向であり、保育施設の整備を行うとともに、スタートアップ等と連携しICTを活用した保育所業務の効率化を推進する</li> </ul>
 <b>福祉・保健</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>老年人口に占める要介護・要支援の割合は高い</li> <li>人口当たりの病院数は多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防医療を推進する取り組みが求められる</li> <li>介護人材不足に対応するため区内のスタートアップ等と連携しICTの介護現場への導入を促進する</li> </ul>
 <b>まちづくり</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>持ち家割合が低い</li> <li>人口当たりの公立都市公園面積が小さい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園のインクルーシブ化や公園での多文化交流イベントの開催など質を向上することで、公園を集いの場とし、地域コミュニティの醸成を図る</li> </ul>
 <b>環境リサイクル</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総住宅に占める太陽光発電設備のある住宅の割合が小さい</li> <li>CO2排出量が大さい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PPAによる太陽光発電設備の設置促進を図る</li> <li>企業と連携し電力消費量の見える化等を行い区民一人ひとりの行動変容を促す</li> </ul>
 <b>防災・危機管理</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口あたり交通事故件数、刑法犯認知件数が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多文化共生の推進に反して、治安の維持に不安が生じるため、特に子どもの安全を守るため防犯ブザーを用いた地域の安全確保体制の構築を図る</li> </ul>
 <b>産業・地域振興</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学発ベンチャー企業数が多い</li> <li>従業者数あたりコワーキングスペースが多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インキュベーション施設を整備し伴奏的な支援を行う</li> <li>社会課題解決に向けた新たなソリューションの創出を図る</li> </ul>
 <b>教育</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一施設当たりの小学生・中学生数が多い</li> <li>小学校教員数あたりの小学校児童数が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT活用による教員の負担軽減を図る</li> <li>子どもたちに対してビジネス教育や英語教育など次世代の日本を担うための教育を実践する</li> </ul>

補足資料

城南地区である大田区、品川区、目黒区と以下の各種指標について比較を行うことで貴区の特徴の分析を行いました。

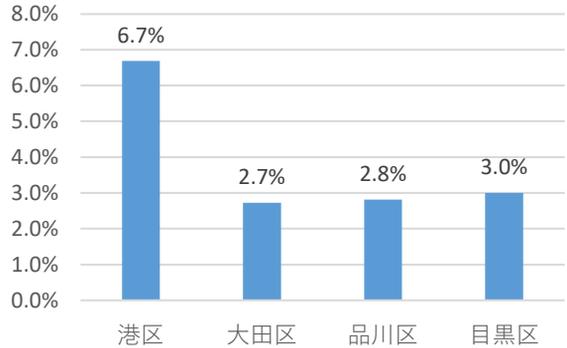
■人口動態

港区の人口推計



出所：国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

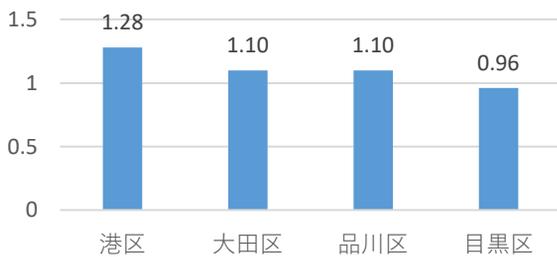
外国人人口割合（2020年）



出所：総務省「国勢調査」

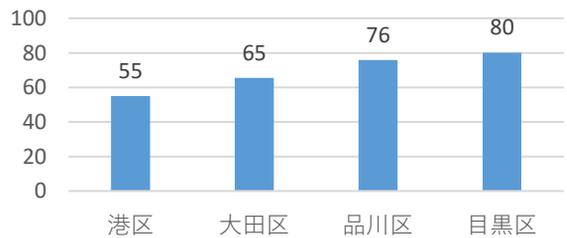
■子育て支援・保育

合計特殊出生率（2022年）



出所：厚生労働省「人口動態統計特殊報告」

0-5歳人口1万人当たりの保育所等数（2023年）



出所：厚生労働省「社会福祉施設等調査」

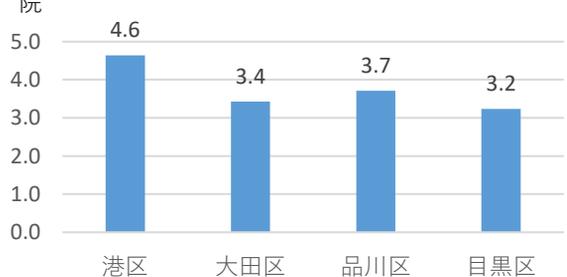
■福祉・保健

老年人口に占める要介護・要支援の割合（2022年）



出所：厚生労働省「介護保険事業状況報告」

10万人当たりの病院数（2022年）



出所：厚生労働省「医療施設調査」

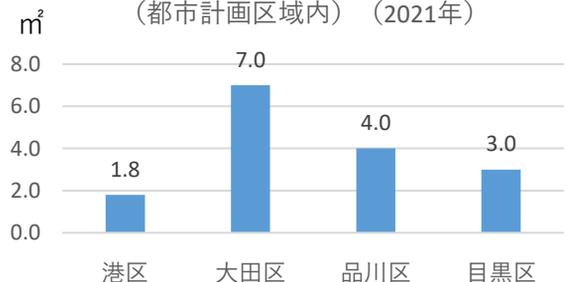
■街づくり

一戸建の持ち家の割合（人口10万人以上の自治体と比較した際の偏差値）（2018年）



出所：総務省「住宅・土地統計調査」（デジタル庁「地域幸福度指標」より）

1万人当たりの市町村立都市公園等面積（都市計画区域内）（2021年）

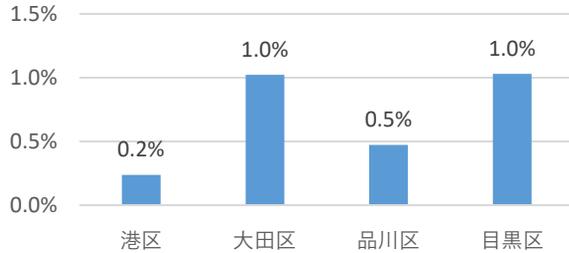


出所：総務省「公共施設状況調経年比較表」

## 補足資料

## ■環境リサイクル

総住宅数に占める太陽光を利用した発電機器のある住宅数の割合（2018年）



出所：総務省「住宅・土地統計調査」

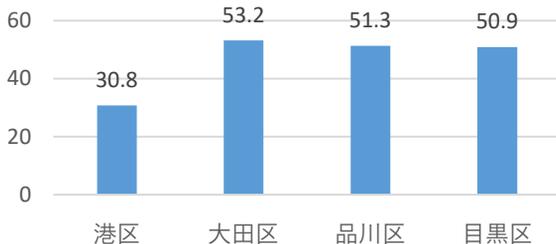
## CO2排出量



出所：オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」

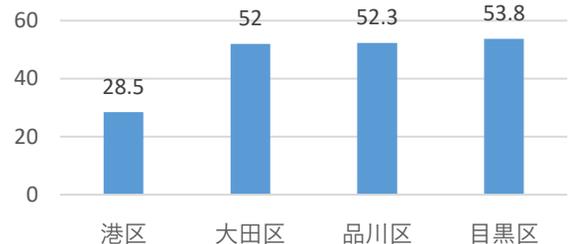
## ■防災・危機管理

人口あたり交通事故件数（人口10万人以上の自治体と比較した際の偏差値）（2022年）



出所：各都道府県HP及び市区町村HP（デジタル庁「地域幸福度指標」より）

人口あたり刑法犯認知件数（人口10万人以上の自治体と比較した際の偏差値）（2022年）



出所：各都道府県HP及び市区町村HP（デジタル庁「地域幸福度指標」より）

## ■産業・地域振興

従業者数あたりコワーキングスペース数（人口10万人以上の自治体と比較した際の偏差値）（2023年）



出所：コワーキング ジャパンHP、総務省「国勢調査」（デジタル庁「地域幸福度指標」より）

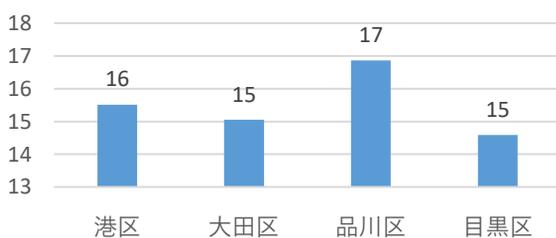
大学発ベンチャー企業数（人口10万人以上の自治体と比較した際の偏差値）（2022年）



出所：経済産業省HP「大学発ベンチャーデータベース」（デジタル庁「地域幸福度指標」より）

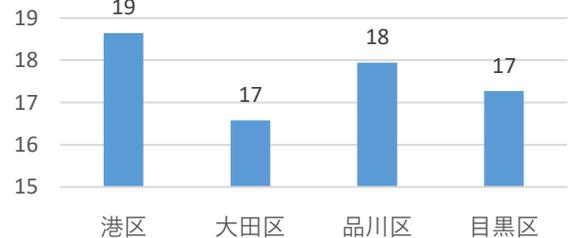
## ■教育

中学校教員数当たりの中学校生徒数（2023年）



出所：文部科学省「学校基本調査」

小学校教員数当たりの小学校児童数（2023年）



出所：文部科学省「学校基本調査」

本業務では様式7で示した「貴区の政策の方向性」を踏まえて下記のような工夫を施すことを想定しています。

## 共生社会の実現

➤ 多様性を尊重し、区民一人ひとりの視点を丁寧に拾い上げるためにMINATOビジョン・タウンフォーラムにおいてフィールドワークを実施（様式8）

## 次世代の担い手の育成

➤ タウンフォーラムにおけるフューチャー・デザイン手法の採用（様式8）  
➤ タウンフォーラム報告会における次世代によるオンライン投票の実施（様式8）

## 官民連携による社会課題解決

➤ タウンフォーラム実施後に、将来像の実現可能性を確かめるために地域の企業・スタートアップ等への意見聴取の実施（様式8）

### 企画提案書

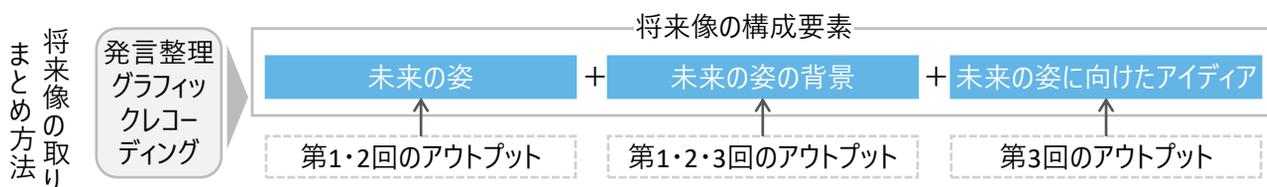
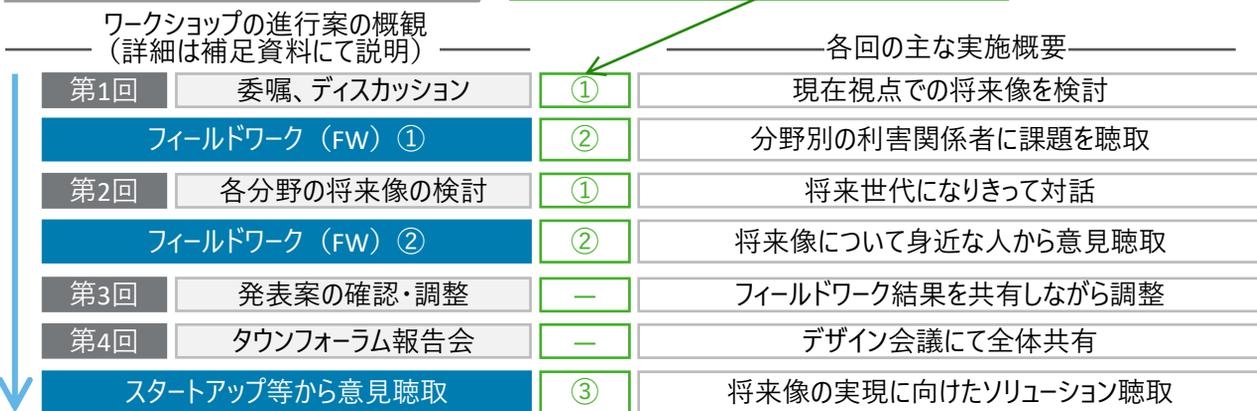
2 区民参画によるワークショップ「MINATOビジョン・タウンフォーラム」を開催し、区で生活をする人々の意見を取り入れ、港区全体の将来像や、子ども、福祉、防災といった分野別の将来像を策定します。

(1) 短い期間の中で参加者から多様な意見を引き出し、港区ならではの将来像を創り上げるために、効果的な手法を取り入れたワークショップの進行案を作成するとともに、成果物として将来像をどのようにまとめるか提案してください。

(2) ワークショップの成果は、MINATOビジョン・デザイン会議で発表します。従来は、区の関係者にのみ発表していましたが、区民をはじめとした港区に係る全ての人々に共有するために、活用するツールや発表方法を含め、報告会の開催方法を提案してください。

#### (1) ワークショップの進行案・将来像のとりまとめ

MINATOビジョンで示す将来像は、社会が大きな転換期を迎える2040年代を目標年次とするものです。このため、将来像は目標年次においてどうなっていきたいかをバックカスティングで検討するだけでなく、その将来像が多様な港区民一人ひとりが希求するものであり、かつ貴区の社会課題が解決された結果であることを確信する必要があります。そのため、本業務においては、参加者が未来の港区民になりきることによって将来の視点から将来像を検討する「①フューチャー・デザインの手法を用いる」こと、港区民一人ひとりの視点を丁寧に拾い上げるため、タウンフォーラムの各回の合間に「②フィールドワークを挟む」こと、そしてアンケートやヒアリング等を通じて、考えられた「③将来像に対する企業やスタートアップの意見を聴取する」ことをコンセプトとしてタウンフォーラムを設計することを提案します。



#### (2) 報告会の開催方法

報告会は、将来像にワークショップの意見を取り入れるために実施することはもちろんですが、ワークショップで出された意見について、ワークショップ参加者以外の区民にその内容を共有することで、区の将来を自分ごととして考えていただくことが重要です。また、考えていただいた内容については、ワークショップの意見が限られたメンバーからのものであることを補完し、意見の代表性を高めるものとするのが重要です。(詳細は補足資料にて説明)

## 補足資料

## (1) ワークショップの進行案・将来像のとりまとめ

## ①フューチャー・デザインの考え方

フューチャー・デザインは現在の選択に対して将来の意見を反映させようとするものです

- 様々な課題に対し、現役世代だけでなく、その課題の影響が及ぶ将来世代の立場も踏まえて議論するものです
- わたしたちが様々な問題に対してとる対応策は、わたしたちだけでなく、未来を生きる人々に影響が及ぶものの、未来の人々は、今現在の話し合いには参加することができません
- このため、今の選択に将来の意見を反映させようとするものです

## ②フューチャー・デザインのメリット

現在だけでなく、将来世代に思いを馳せ、検討が可能で、財務省や自治体で取り組まれています

- これまでの将来のことを考える場においては、どうしても目の前のことを優先し、将来のための行動は後回しになりがちであるため、参加者が将来世代の立場に立って議論を行うことで、目の前の暮らしの課題解決が一時的な解決で終わらず、より良い暮らしが続いていく社会の実現のために今できることを考えることができます
- 財務省（財政制度等審議会からの提案）、岩手県矢巾町（総合計画、公共施設再編、長野県松本市（庁舎移転、公共施設再編）などで実施され、西條辰義氏（京都先端科学大学特任教授）らにより、学術的な研究も実施され、効果についてのエビデンスも蓄積されています

## ③フューチャー・デザインによるワークショップの進め方（イメージ）

将来から考えられるよう、視点を変えることに慣れていただきながら段階的に進めていきます

## MINATOビジョン・タウンフォーラムの進行イメージ

第1回	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 現状から見た将来の姿を思い描く 「きっとこうなっているだろうなあ」</li> </ul>
フィールドワーク①	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第1回終了後、第2回までにご自身の担当分野に関する利害関係者（友人・家族等の身近な人）に第1回で考えた将来像に関する意見などを聴取 例）子育て世帯に「これは理想的な未来の子育て社会ですか？」</li> </ul>
第2回	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 過去を振り返る 「昔はこういう世の中だったなあ」</li> </ul>
フィールドワーク②	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 未来にタイムスリップし、未来人として世の中を観察 「今（未来）はこうなっているのか」</li> </ul>
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フィールドワークの結果をグループ内で共有</li> <li>● 第2回の結果やフィールドワークの結果を踏まえて、将来像をブラッシュアップ</li> <li>● 将来からの提言「今すべきこと」を対話を通じて整理</li> </ul>
第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MINATOビジョン・デザイン会議において各分野の将来像を発表</li> <li>● 未来を担う世代等からコメントをもらう</li> <li>● 総評、アンケート</li> </ul>
SU等から意見聴取	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 将来像の発表を踏まえ、その将来像の実現に向けて有意義なソリューションを港区に縁のある民間企業やスタートアップから意見聴取（例：「MINATO Accelerator 2024」の採択企業等を対象に、アンケートやヒアリング等を実施）</li> </ul>

## 補足資料

## ④ワークショップの記録方法

## 東京都内自治体で経験を豊富に有するグラフィッカーと協働して、内容を整理

- ワークショップの議論内容については、言葉での記録だけではイメージがつきにくくなる傾向があります
- また、複数回のワークショップでは、各回の内容を正確かつ見やすく、そして議論の流れが分かるように整理することで、内容の記憶や振り返りが容易になります
- 弊社ではこれまで、東京都大田区における総合計画策定等において連携の実績がある「株式会社hint」等、都内自治体での実績を有するグラフィッカーをご紹介することが可能です



## (2) 報告会の開催について

- 報告会開催のポイントを踏まえると、下記のような手法を採用することが有効と考えます。

## ポイント①

報告会の聴衆が自分ごととして考えるための工夫

- ワークショップ参加者全員が自分の言葉で話すことで本気度を伝える

## ポイント②

報告会の臨場感を共有し、参加意識を高めるための工夫

- YouTube等によるリアルタイム中継
- 次世代によるオンライン投票

## ポイント③

報告会の聴衆が自分ごととして考えた意見を表明し、ワークショップで出された意見の代表性を補完する工夫

- 報告会の聴衆が自分の意見を整理する時間を設け、主体性を確保
- 自分の意見を発表する場を設け、意見への共感状況を速報する

## (3) 本業務に有効な業務実績

## YouTubeを用いた報告会のライブ配信

&lt;東京都町田市&gt;

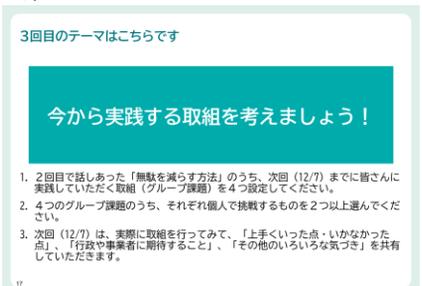
- 東京都町田市の事業評価報告会においてYouTubeでのライブ配信・インターネット投票の実施支援の経験があります
- ライブ配信に先駆け、評価者が自分の言葉で質問や意見を述べるよう準備し、主体性のある議論となるように準備。また、傍聴者及び視聴者は、話し合いの途中で行うインターネット投票にご自身のスマートフォンから参加でき、その投票結果をリアルタイムに表示し、参加者の意見も反映しました
- 今回のご支援においては、ライブ配信、オンライン投票と投票結果の即時公表のノウハウを活用し、スムーズな中継の実施と投票の結果表示のシームレスな集約により、臨場感高く、参加による満足度高い報告会を実現することができました



## フィールドワークを通じた体験型ワークショップ

&lt;東京都品川区&gt;

- 東京都品川区では「環境にやさしい個人の行動」をテーマとした区民ワークショップにおいて、環境負荷を軽減させるためのアイデアを話し合った第1回の終了後に、出てきたアイデアを第2回までに実践してきてもらい、第2回ではその感想の共有を図りました
- 今回のご支援においてはこのノウハウを生かし、「大きな負荷をかけずに」、「ワークショップの成果を高める」方策を援用し、机上ではなく、実体験や住民視点に立った将来像の検討に役立てます



## 企画提案書

3 区民参画組織による提言をもとに、MINATOビジョン・デザイン会議で港区全体の将来像を決定し、MINATOビジョンの策定に先駆けて公表します。多くの人の興味を引き、主旨を効果的に伝えるために、どのようにコンテンツ化し発信するか、構成やデザインイメージも分かるように提案してください。

将来像について多くの人の興味をひき、主旨を効果的に伝えるためには下記に示す要素を踏まえ、港区らしさを意識しながら効果的な手法を選択することが重要です。

<b>ターゲットの明確化</b>	誰に向けて伝えたいのかを明確にし、その人が興味をひく内容や言葉を使う
<b>シンプルでわかりやすい言葉</b>	専門的な言葉や難しい表現を避け、誰でも理解できるように簡潔に説明する
<b>視覚的要素の活用</b>	画像や動画、インフォグラフィックなど、視覚的な要素を使って内容を補強する
<b>ストーリーテリングを活用</b>	内容に感情を込めて共感を得るため、コンテンツに物語性を持たせる
<b>相手の反応を引き出す</b>	受け手が受け入れやすいタイミングで、過剰にならないように提供する

上記を念頭に置き、下記の4つの手法によるコンテンツ化、発信方法を提案します。

### ①映像化による発信

- 幅広い住民を対象として、将来像をアニメーションや実写により映像化し、5分程度で視覚的に未来の港区について伝えます。(アニメーションか実写かは要検討)
- 弊社では目黒区や前橋市等において、地域の将来ビジョン(目黒区はDXビジョン、前橋市はスマートシティビジョン)の映像化を支援した実績があり、そのノウハウを活用します。

映像化のポイントは、まちのビジョンを可視化するとともに、ストーリー性を持たせて視聴者の共感を得ること等です



### ②アイコン化

- 映像にせよ紙媒体にせよ、将来像の姿をアイコン化し、区民等に一目でかつ印象に残る形で表すことが有効です。
- 弊社では八王子市の総合計画(八王子ビジョン2040)策定等において、職員や住民の意見を取り入れながら作り上げた11の将来像を一つ一つアイコン化し、総合計画に掲載しました。

アイコン化のポイントは、人物を登場させながら将来像やユースケース(場面設定)等を明らかにすること等です



### ③子ども向けコンテンツの作成

- 次世代を担う子どもたちにもリーチさせるため、子ども向けのコンテンツを作成します。(紙媒体を想定)
- 弊社では大田区の基本構想策定支援において通常の基本構想とは別に、漫画を用いた冊子の作成支援の実績があります。



### ④外国人向けコンテンツの作成

- 貴区に多く住む外国人向けに、外国語によるコンテンツを作成します。(紙媒体を想定)
- 弊社では大田区の基本構想策定支援において通常の基本構想とは別に、英語版の冊子の作成支援の実績があります。



(※) 上記の他、点字や音声等による発信についても検討可能です。

### 補足資料

#### (1) 本業務に有効な業務実績

弊社では下記に示すようなコンテンツ作成支援実績があり、そこで培ったノウハウを本業務において有効に活用することを想定しています。

#### DXビジョンの映像化

<東京都目黒区>

- 目黒区DXビジョンの策定にあたり、地域や区役所がどのように変革するのかを住民にも分かりやすく伝えるため、5分程度の映像化の支援を行いました。



「DX化が進めばどのような生活が待っているか」を映像化



質問を投げかけ、DXを自分ごと化

#### スマートシティのビジョンの映像化

<群馬県前橋市>

- 前橋市独自のスマートシティを推進するにあたり、住民の理解を得ることを目的としてアニメーションによる映像化を支援しました。



#### 将来像のイラスト化

<東京都八王子市>

- 八王子市の総合計画（八王子ビジョン2040）策定等において、職員や住民の意見を取り入れながら作り上げた11の将来像を一つ一つアイコン化し、総合計画に掲載しました。

**2** みんなで目指す2040年の姿

**01** 人と人、人と環境が共生する社会を実現する。多様な価値観や個性を尊重し、互いに支えあひながら、強さとしなやかさを持ったまちで安心して暮らしている。

**02** 地域産業のイノベーションによって、より豊かな生活を享受して暮らしている。

**03** それぞれの個性を互いに認め合い、それぞれが望むフィールドで活躍している。

**04** ワクワク感を持って、「やりたい!」に挑戦でき、笑顔で自分のみちをおゆんでいる。

**06** 一人ひとりが高い防災意識を持ち、互いに支えあひながら、強さとしなやかさを持ったまちで安心して暮らしている。

**08** 地域産業のイノベーションによって、より豊かな生活を享受して暮らしている。

**10** 地球規模で考え、地域で実践し、環境負荷ゼロのまちを目指しながら暮らしている。

一人ひとりの可能性を最大限に引き出す。 2040年に向けた取り組み。 地域で活躍できる。 地域産業のイノベーションによって、より豊かな生活を享受して暮らしている。 ビジネスチャンスをつかめる。 暮らしの豊かさを追求する。 働く場所が増える。 地球規模で考え、地域で実践し、環境負荷ゼロのまちを目指しながら暮らしている。

補足資料

子ども向け総合計画の策定

<東京都大田区>

- 大田区の基本構想策定支援において通常の基本構想とは別に漫画を用いた冊子の作成を支援しました。



外国人向け基本構想の策定

<東京都大田区>

- 大田区の基本構想策定支援において通常の基本構想とは別に、英語版の冊子の作成を支援しました。



弊社ではこれまで示してきた実績以外にも、東京都福生市等においてブランドビジョン策定時にまち全体の将来像のビジュアル化やインフォグラフィックを活用した分かりやすい計画策定実績など豊富な実績を有しています。

(2) その他 - 映像から計画への落とし込み

弊社では群馬県前橋市において、市の将来像を映像化した「めぶくビジョン」(別会社による作成)に基づき、そのコンセプトを総合計画に落とし込む支援を行った実績を有しています。この実績を踏まえ、貴区将来像の映像化が未来のコンセプトとして根付いていくよう、次フェーズにおいて計画にその理念や価値観を落とし込んでいくご支援も可能と考えています。

